

# いずみさの教育



問合先  
学校教育課

## 教育フォーラムを開催します

「育てよう子どもの力、つくろう泉佐野の豊かな明日」

教育委員会では、「授業・保育づくり」や「人間関係づくり」の取組や成果などを発表する場として、また、保護者や市民の人たちと教職員がともに研修できる場として「教育フォーラム」を、泉佐野市PTA連絡協議会と協働して毎年開催しています。

前半の部では、「授業・保育づくり研究グループ」の取組を発表します。市域全体に設定したテーマ「支えあい・学びあい・響きあい」を基に、各中学校区の課題に即したサブテーマを設け、グループでの学習活動を取り入れたり、発表の仕方を工夫したりするなど、「コミュニケーション力」を育むためのよりよい授業・保育づくりの研究を2年計画で進めています。今年はその2年目で、取組の成果を発表します。続いて、児童生徒の交流活動として夏季休業中に実施しました泉佐野市少年消防クラブによる石巻市への被災地訪問や中学生による国際交流（モングル国訪問）についての報告をします。様々な経験の中での子どもたちの豊かな感性と成長の様子を見ることができ、後半の部では、「株式会社ひ

とまち」のちよんせいこ代表取締役による講演会を開催します。ちよん代表は、会議の技法「ホワイトボードミーティング」を開発し、効率的、効果的な会議の普及やファシリテーターの養成に取り組んでいます（ファシリテーターとは、会議や研修などで豊かなコミュニケーションを育み、一人ひとりの力が生かされるプロセスを作る進行役を表す言葉です）。講演のテーマは、「信頼ベースの学級ファシリテーターセミナー 仲間づくりから、学力向上へ」です。ミニホワイトボードを活用した講演会で、教職員や保護者が授業や家庭で豊かなコミュニケーションを育む方法を学び、また、子どもたちにも承認し合う関係を育み学力向上をめざす、具体的な手だてを体験していただく予定です。みなさん、ぜひ参加してください。

### 泉佐野市教育フォーラム

日時 12月22日(木)  
午後1時30分～

場所 エブノ泉の森小ホール

※手話通訳あり。一時保育(無料)は事前予約が必要ですので、学校教育課に問い合わせてください。

## 学校園紹介

### 地域とともにある学校づくり ～第一小学校～

本校は、「心豊かな子どもの育成をはかり、確かな学力向上に努める」を教育目標とし、地域のみなさんの支援を得ながら教育活動を営んでいます。

1学期には3・4年生に、泉佐野観光ボランティア協会 紙芝居グループのみなさんから泉佐野市に伝わる民話・伝承の手製紙芝居を上演していただきました。「食ノ長者」や「犬鳴山物語」など上演していただき、子どもたちも熱心に視聴していました。

また、5・6年生に、泉佐野市観光協会のみなさんから郷土芸能である「佐野くどぎ」踊りを教えていただきました。江戸時代に佐野の豪商食野家の庭先で、紀州藩主を前に踊られたのが始まりと言われていた踊りですが、次世代に伝え、伝統文化の継承を図っていききたいと思います。

そして、生産体験活動として、近隣にある田んぼをお借りし、学校教育田として地区福祉委員会のみなさんの協力も得ながら、ジャガイモの栽培や田植え、稲刈りといった活動も行っています。

今後とも、地域のみなさんに支援してもらいながら、子どもたちの健やかな成長を育み、将来この学校・地域を誇りに思うことができる子どもたちを育てていきたいと思えます。

### 「命・優しさ・絆」をつなぐ花づくり ～中央小学校～

阪神・淡路大震災で亡くなった神戸市の小学6年生 加藤はるかさんの自宅跡に咲いたひまわり。その命を受け継ぐひまわりが、この夏、中央小学校に咲きました。

採取した種を次の人に配布する過程で由来を伝え、災害の悲惨さと命の尊さを再考する活動「はるかのひまわり絆プロジェクト」に賛同する人々が引き継いできた

種を、本校の子どもたちが撒き育て咲かせたものです。

「命の大切さ」「人の絆の大切さ」を伝えるこの種を届けてくださったのは、佐野高等学校国際教養科の生徒のみなさん。

共に育て採取した種を、平和を願う中央っ子の思いと共に、未だ地雷の残るカンボジアの子どもたちの元へと届けてもくください。

春に向けては、チューリップやビオラ。咲かせた花を地域のみなさんにも貰っていただき、学校はもちろん、故郷の町が「命・優しさ・絆」の輝きに満ちあふれるようにと考え、心を込めて育てていきます。

